

寅さん歩 その 26

東京の主要道路の起点～終点

目黒通り－2



平野 武宏

道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思いました。2021年10月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り（番外編）」、「靖国通り（元大正通り）」、「内堀通り」、「目白通り」と歩きました。「江戸五色不動」の「目黄不動尊」が明治通りの大関横丁交差点先の「永久寺」に、「目白不動尊」が目白通りの高田一丁目交差点下の「金乗院」にありました。現在は「目黒不動尊」のある「目黒通り」を歩いています。写真上右は目黒通りの道路名標識（都道312号線）です。目黒通りは港区白金台の清正公前交差点を起点に品川区、目黒区から世田谷区玉堤の多摩堤通りに至る延長10kmの道です。今回は港区白金台の起点から目黒区目黒新橋まで歩きました。

今回は目黒区目黒新橋先の大鳥神社交差点から終点の世田谷区玉堤まで歩きます。掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しました。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

[大鳥神社交差点] 目黒区下目黒一丁目 最寄駅 JR 目黒駅



大鳥神社交差点（写真上右）で山手通り（都道 317 号線）と交差します。山手通りは品川区東品川の新東海橋交差点を起点に板橋区中山道仲町交差点が終点までの東京の城南地域の環状道路です。大鳥神社交差点は左へ行くと五反田方面、右へ行くと大崎方面です。目黒通りは直進して等々力方面に向かいます。交差点左角が「大鳥神社」（写真下左右）です。大鳥神社は日本武尊の東征にゆかりがあるといわれ、806 年（大同元年）に創建された区内最古の神社です。西の市は都内有数の賑わいをみせます。寅さん歩 39 健康ご利益めぐり 目黒区一 1 および 79 江戸・東京の祭—10 江戸らしい祭—3 をご覧ください。



目黒通りを進むと左側に「目黒寄生虫館」（写真下左）があります。寅さん歩 352 東京の博物館めぐり—39 目黒区一 1 をご覧ください。この角を左折して進むと「龍泉寺」（通称 目黒不動尊）（写真下右）です。目黒不動尊は 808 年（大同 3 年）開山と伝えられ徳川三代将軍 家光の庇護を受け、また江戸からの手ごろな距離にあり賑わいました。寅さん歩 10 江戸五色不動めぐりをご覧ください。



甘薯（サツマイモ）の栽培を奨励し人々を飢えから救った「甘薯先生 青木昆陽」の墓が境内北側の墓地にあり、毎年 10 月 28 日「甘薯祭」が開催されます。寅さん歩 77 江戸・東京の祭—8 江戸らしい祭—2 をご覧ください。

目黒通りに戻り、進むと、「元競馬場」のバス停（写真下左）がありました。かつては進行方向左側一帯に「目黒競馬場」があり、日本ダービーも行われました。1933年（昭和8年）現在の府中市 東京競馬場へ移転しましたが地名やバス停が残っていました。



「目黒記念」という重賞レースは目黒競馬場に因んだものと知りました。

途中に「油面」という表示の地点を通り過ぎました。地名の由来は江戸中期からこの地は菜種の栽培が盛んで菜種油を芝増上寺に献上する代わりに年貢を免除されたので「油免」となった説が有力だそうです。

〔柿の木坂陸橋〕 目黒区柿の木坂一丁目

最寄駅 東急東横線 都立大学駅

碑文谷警察署を過ぎると柿の木坂陸橋で環七通り（都道 318 号線）と交差します（写真下右）。環七通りは大田区東海の湾岸道路を起点に、江戸川区臨海町に至る延長 57 km の環状方向（都内 11 区を通過）の都道です。目黒通りは直進で等々力方面に向かいます。東名高速や第三京浜への表示もあります。



東急東横線のガード（写真下左）をくぐると都立大学前の交差点（写真下右）で左へ行くと都立大学駅です。都立大学は都立四大学改革で誕生した公立大学で、現在は八王子市大沢に移転しましたが、近隣に存在した大学の駅名が残されています。



都立大学駅周辺は「呑川緑道」の桜並木です。ヨメイヨシノの2022年の東京の開花は3月20日、満開は3月27日と発表されました。写真下は3月27日の撮影です。



[中根交差点] 目黒区中根一丁目 最寄駅 東急東横線 都立大学駅



中根交差点（写真上右）で自由通り（都道 426 号線）と交差します。左へ行くと自由が丘駅方面、右へ行くと駒沢方面です。

【産能短大交差点】 世田谷区自由が丘六丁目

最寄駅 東急東横線 自由が丘駅

世田谷区に入り駒八通りと交差します。左へ行くと九品仏方面、右へ行くと駒沢オリンピック公園方面です。「産業能率大学自由が丘キャンパス」の（写真下左）校舎が点在しています。目黒通り沿いに第7校舎までありました。

その先に進むと上野毛方面へ分岐の経路案内標識（写真下右）があります。



【とどろき陸橋】 世田谷区等々力四丁目

最寄駅 東急大井町線 等々力駅

右側の「玉川神社」（写真下左）を過ぎると「とどろき陸橋」（写真下右）です。玉川神社は熊野大社から分霊、熊野神社と呼ばれていましたが、明治40年に村内の神明社、御嶽社、諏訪社を合祀し地名を採り、玉川神社に改称しました。





とどろき陸橋に上がり下を見ると東急大井町線が走って来ました。写真左の電車は陸橋をくぐるとすぐ東急大井町線の等々力駅です。

[等々力不動前交差点] 世田谷区等々力二丁目

最寄駅 東急大井町線 等々力駅

等々力不動前交差点（写真下右）で環八通り（都道 311 号線）と交差します。右へ行くと第三京浜、東名方面、左へ行くと尾山台、田園調布方面です。環八通りは大田区羽田空港から世田谷区、杉並区、練馬区、板橋区を経て北区赤羽に至る延長 39 k m の環状（実際は半円状）の都道です。



[等々力不動尊・等々力溪谷] 世田谷区等々力一丁目

最寄駅 東急大井町線 等々力駅

交差点先右に「等々力不動尊」の山門（写真下左）が見えます。真言宗中興の祖 興教大師が夢を見て武蔵国に不動明王像を安置する場所を探し、豊富な水量の当地の滝を見て霊場と悟り、この地に不動堂を創建したと伝わります。

写真下右は拝殿です。江戸時代末期の建築の山門と拝殿は等々力一丁目の満願寺から移築しています。



拝殿の左側から下に下りると「等々力溪谷」(写真下左)です。東京 23 区での貴重な自然湧水による滝 (写真下右) や豊かな動植物が見られる散歩やウォーキングスポットになっています。



[多摩堤通り] 世田谷区玉堤二丁目 最寄駅 尾山台駅 (バス利用)



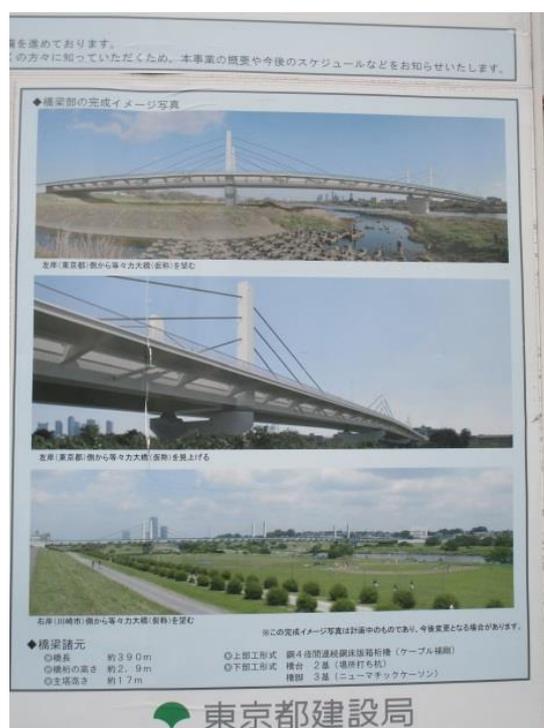
等々力不動尊の坂を下ると目黒通りの終点が近づきます。前方は多摩川で東京都と神奈川県の間です。突き当り（写真上左）を右折して多摩堤通り（都道 11 号線）との合流地点（写真上右）に行きます。ここが目黒通りの終点です。合流地点を直進すると二子玉川方面です。

[こぼれ話] 等々力大橋（仮称）の整備事業

多摩堤通りの先は多摩川で向こう岸は神奈川県川崎市です。（写真下左）説明板によると 2019 年（平成 32 年）から 2024 年完成予定で「等々力大橋（仮称）」をかけて目黒通りと神奈川県を結ぶ整備事業が進められています。



写真右の上段は左岸（東京都側）から望む等々力大橋、中段は左岸から見上げた等々力大橋、下段は右岸（神奈川県側）から望む等々力大橋です。



[バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。バーチャル 東北復興支援絆ウォークを歩き終えた寅次郎、次はバーチャルウォーク 松尾芭蕉とあるく「奥の細道」に挑戦します。全行程約 2400 km の長旅なので最後までたどり着けるか心配ですが、目標があれば元気に生きられると強がっています。

2022年4月26日、江戸深川（現在の江東区深川）の芭蕉庵を出発、2022年5月1日粕壁（現在の埼玉県春日部市で江戸深川から34km）に到着しました。八柳さんのコースシートには都度、芭蕉の俳句が掲載されています。千住旅立ちの句です。

「行く春や 鳥啼く魚の目は涙（なみだ）」

（注釈：三月の春光すでに過ぎ、今や春もまさに逝かんとしている。あてどもなくさすらう鳥の鳴き声も哀愁に満ち、水に浮かぶ魚の閉じることのない目も涙にうるんでいる）

毎日の運動不足対策や事情で例会に参加できない場合はマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。

また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷して利用ください。

歩く際は密閉・密集・密接の密にならないよう、又それ以外の感染対策を怠らないようにお願いします！

平野 寅次郎 拝